

## 「ご意見・ご質問シート」における意見・質問事項とその回答

No.	章節	項目	資料	ご意見・ご質問事項	市の考え方
1	全体	意見	—	初日の説明の中で、総合戦略の下に総合振興計画と教育大綱があるようなお話をいただいたが、総合振興計画が最上位と認識しています。また、教育大綱は、「教育大綱について」の中にも記載されている通りに、総合振興計画に並ぶものではなく、これを参酌するものとあります。	総合振興計画が最上位計画であり、総合戦略や教育大綱等を内包するものと考えます。
2	全体	意見	—	施策指標は1つでなくてよいと思うので、追加されても、以前の指標がふさわしい指標だったら、むしろ継続して数字を追った方がよいのではないのでしょうか。	指標については、前期計画の指標を含め、再検討を行いました。また、指標は、活動指標ではない成果指標を設定するよう努めたところです。
3	第1章 第1節	意見	資料3 1頁	(2) 取り組みの方向性に「インターネットの活用」を入れてみてはどうか。加入率の減少は不明な点が多いということもあると思います。まずは、活動を知ってもらう。そして、様々な参加の仕方を提案できれば、加入につながると思います。ちなみに美南1区では、HPを立ち上げることで現在進行中です。	自治会の活動を知ってもらうためのHPの立ち上げは、自治会等が主体となることから、「3市民・地域等の取組み」へ記載しました。
4	第1章 第1節 第1章 第6節	質問	資料3 1頁 7頁	自治会加入率の減少について 私の自治会では、毎年1回～2回未加入者に対して、申込み用紙を配布して増加を図っています。集会所の無い自治会がありますが、その対策はありますか。外国人(ベトナム、タイ、フィリピン)等の言葉が通じず、交流が難しく自治会に入会して頂けない。	集会所の無い自治会への対策については、公共施設の会議室を活用していただいています。集会所の整備にあたっては、市民参加推進課までご相談ください。また、外国人等の言葉の問題については、外国語への翻訳なども市民参加推進課でお手伝いしておりますので、併せてご相談ください。
5	第1章 第1節 第1章 第6節	意見	資料3 1頁 7頁	市職員は市内に居住を推奨し自治会活動、まちづくりに参加を推める。	計画への記載は難しいと考えますが、貴重なご意見として、地域参加を職員へ呼びかけてまいります。
6	第1章 第3節	意見	資料3 4頁	<平和意識の高揚>戦争や大規模自然災害の悲惨さを伝承するために有効なのは、実体験を持つ「語り師」です。市内外の適切な語り師を探し、映像・写真をまじえて体験を語ってもらいたい。教訓を伝承できるのは、実体験に基づく肉声での語りかけである。	事業に関する個別具体的なお提案・ご意見については、担当課にお伝えし、今後の参考とさせていただきます。
7	第1章 第3節	意見	資料3 4頁	施策小項目 同和問題は都市部では今はあまり問題にならない事項ではないか。(団体の圧力はあるが)むしろ原発の事故により移転し生活している人達が、いじめや避難を浴びない様な教育や社会の環境整備を盛り込んでみては？	ご意見については、(1)現状と課題の「あらゆる人権問題」及び施策小項目(2)①に表現されています。

No.	章節	項目	資料	ご意見・ご質問事項	市の考え方
8	第1章 第4節	意見	資料3 5頁	1(2)・三つ目・新たな国との国際交流 唐突過ぎるので、現状と課題に理由が盛り込めるといいのでは 「親善訪問団派遣事業への参加者が減少している」が理由とは捉えにくい。 近隣のアジアでとか？	アジアを主として多くの外国人が市内に在住していますので、市内在住の外国人を中心に様々な交流を図り、将来的に友好的な関係を育むものです。
9	第2章 第1節	質問	資料3 8頁	私の地域では民生委員さんに欠員があり、補充がなかなかできません。また、現在の民生委員さんも高齢の方が多く次回の推薦も大変な状況です。役所職員で退職された方々で民生委員になって頂けないでしょうか。	民生委員については、必要な取組みとして計画に記載しています。いただいたご意見は、担当課にお伝えし、今後の参考とさせていただきます。
10	第2章 第2節	質問	資料3 9頁	携帯やインターネットにまつわる有害情報の氾濫からの保護はもう必要ありませんか？	ご意見については、第5章第3節「青少年健全育成の充実」において取組みます
11	第2章 第3節	意見	資料3 12頁	65歳以上人口と一纏めにするのではなく、5歳毎などに区切り目標値を設定してはどうか。	高齢者への支援は、年齢によって対策が異なるものではありませんので、年齢ごとに区切って目標値を設定する必要があると考えます。
12	第2章 第4節	意見	資料3 13頁	農家の後継者不足の中、障碍の度合いにもよるが、農業への就労の場も含めてはどうか。	障がい者の就業支援については、施策小項目(3)②に表現しており、農業への就労も含まれています。
13	第2章 第5節	質問	資料3 16頁	特定保健指導実施率とは、何をもって指導実施と見なすのか。来庁、訪問、電話など。	指導実施は、特定健診を行った方のうち、腹囲に加えて血統や血圧などが一定以上の方を対象にとして、面接指導をした件数が対象となります。
14	第2章 第6節	意見	資料3 17頁	荒天時や夏場のスポーツに屋根付きグラウンドの整備。イベントも出来る。	スポーツ施設の整備については、施策小項目(3)③④で表現しています。施設の形態に関する個別具体的ご意見については、担当課にお伝えし、今後の参考とさせていただきます。
15	第2章 第6節	意見	資料3 17頁	美南地区に総合体育館を移転してはどうか？駅からの距離、交通、アクセス等考えると人を呼びやすい。大会等できる大きさにし、市民にも広く開放できれば、今より収益もあがるのではと思います。旧体育館は売却し、建築費の足しにできるなら利用し、もしくは、市民プールの拡張でしらこぼとプールのようにするのも良いと思います。	スポーツ施設の整備については、施策小項目(3)③④で表現しています。施設の形態に関する個別具体的ご意見については、担当課にお伝えし、今後の参考とさせていただきます。
16	第2章 第7節	意見	資料3 18頁	吉川市には、吉川中央総合病院がありますがこれからの医療環境ということで吉川美南駅東側に大病院との考えがありますが、駅から離れてでも道路交通を整備し、もっと広い土地を確保し、高度医療の大学病院等を誘致し、医療・介護・リハビリと総合メディカルセンターを作ってはどうか。	医療体制の充実については、施策小項目(2)②で表現しています。なお、ご意見の大学病院の誘致については、県の地域保健医療計画に基づかなければならず市の判断のみで進めることができない状況です。

No.	章節	項目	資料	ご意見・ご質問事項	市の考え方
17	第2章 第8節	質問	資料3 19頁	現状値(H27)が前期の目標値 249,069 円よりも遥かに高くなっている。原因はどこにあるのか。	前期基本計画の策定時から5年が経過し、被保険者の平均年齢が上がり、1人当たりの医療費が増加していることが原因です。
18	第3章 第11節	意見	資料3 36頁	2(1)①「消費生活センター」への相談は悪質商法についてが多いのでしょうか。消費問題全般のセミナーや広報でもいいのかと思います	ご意見を踏まえ、表現を修正しました。
19	第3章 第2節	質問	資料3 23頁	平成37年の人口ピーク時に市民1人当たりの公園面積をどれくらいにする目標なのか？人口が減少すれば、自然に面積は増えていく傾向になるのではないのか。	市民一人当たりの公園面積の目標については、都市公園法施行令第1条の2で「市民一人当たり10㎡以上が標準」と規定されており、吉川市都市公園条例においても法を参酌し、同面積としています。なお、目標数値については、計画期間内の整備計画や人口増加の見込みなどの現状を踏まえて設定しています。
20	第3章 第2節	意見	資料3 23頁	「自然環境の保全と質の高い自然環境の創出」入れてもらいたい 施策指標に追加希望 みどり豊か＝高次消費者の存在だと思う。目標の生き物とか掲げてみては。それから、指定樹木、指定樹林の増加とかも	自然環境の保全については、第3章第4章において表現しております。 施策指標における「指定樹木や指定樹林の増加」については、指定された樹木の管理など課題がることから、施策指標としての設定は難しいと考えます。
21	第3章 第2節	意見	資料2 23頁	高齢者の日常生活への取り組みに対する満足度の不満な理由に趣味や生きがいがないと感じるからとある。趣味で市内の高齢者を繋げる取り組みは何かできないだろうか。	ご意見については、第2章第3節施策小項目(1)①に表現しています。
22	第3章 第4節	質問	資料2 27頁	子どもの「未来を生きる力」とは具体的にどのような能力を身につけることを目指すのか	未来を生きる力については、総合戦略において「礼儀正しさ、約束・決まり事を守るなど、規律ある生活習慣を身につけ、目的・目標に向かって、あきらめず継続的に努力できる力を身につけること」としています。
23	第3章 第4節	意見	資料3 27頁	施策指標総資源化率は外しがたいと思います	資源ごみ(紙類・アルミ缶など)の持ち去り行為が後を絶たず、正確な資源化率の算出が困難となっています。ごみ減量は、排出者である市民一人ひとりの行動が重要であることから、ごみの排出量を指標としたものです。
24	第3章 第5節	質問	資料2 28頁	公共施設マネジメントの基本的な考え方における「まちづくりの視点を重視」の「まちづくりの視点」とは具体的にどのようなものか	公共施設マネジメントには、一般的に少子高齢化や、まちの将来像などの長期的な視点が必要であることを表現したものです。

No.	章節	項目	資料	ご意見・ご質問事項	市の考え方
25	第3章 第5節	質問	資料3 28頁 29頁	自主防の委員の立場から申し上げます。吉川市は、江戸川、中川、大場川等と接している地域であり、想定外の災害も予想されます。人命尊重の点からも充実した対策が必要です。市の防災マップによると、河川が氾濫すると市のほとんどの地域で浸水が想定されます。江戸川の防災ステーションの整備促進はどのように考えているか。防災リーダーの育成は。	防災は、重要な取り組みとして計画の重点テーマに記載しています。防災ステーションの整備は現在進行しており、引き続き、国と情報交換を図りながら、整備の進捗を注視していきます。また、防災リーダーの育成は、必要な取り組みとして計画に記載しています。
26	第3章 第5節	意見	資料3 28頁	自治会ごとの防災体制を再整備し、自主防災組織の活動内容をよりリアルなものにする必要があると思います。(地域によって異なると思うので)ここでも自治会HPが生きてくると考えています。有事の際の行動の仕方や地域の防災リーダー等を知ってもらうのに役立たせます。	自治会のHPの立ち上げは、自治会等が主体となることから、「3市民・地域等の取り組み」へ記載しました。
27	第3章 第6節 重点テーマI	意見	資料3 30頁 64頁	水田機能を生かした遊水地の整備。	水田の遊水地整備については、まとまった区域を確保しつつ、全ての地権者の理解が必要となります。また、水害が発生する時期が耕作期と重なることから、作物の補償が必要となるなど課題が多くあります。
28	第4章 第4節	意見	資料3 40頁	充実した公共交通網の整備 ・利用しやすいバス停留所 ・高齢者や車いすが利用できるバス ・児童・生徒の安全な通学を確保	「利用しやすいバス停留所」と「高齢者や車いすが利用できるバス」については、施策小項目(3)①で表現しています。「児童・生徒の安全な通学を確保」については、第5章第2節施策小項目(6)において表現を検討します。
29	第4章 第2節	意見	資料3 38頁	吉川美南駅の東口にはぜひ自分達が住む地域はととも魅力があると思ってもらえるよう、美術館や博物館、運動場、宿泊施設があると良い。転出者が減ることにもつながるとともに、歳入もあがると思います。それと共に大企業、大手スーパーだけでなく、個店が創業しやすい、起業に挑戦しやすくて良いと思います。	吉川美南駅東口周辺地区の開発については、施策小項目(2)で表現しています。開発に関する個別具体的なお意見については、担当課にお伝えし、今後の参考とさせていただきます。
30	第4章 第3節	意見	資料3 39頁	幹線道路整備 さくら通り334号線を延長(松伏)そこに工業団地の開発をしては。	さくら通り 334 号線の松伏町までの延伸については、第 5 次計画の基本構想を超えるものであり、将来的な検討課題とさせていただきます。
31	第4章 第4節	意見	資料3 40頁	交通不便地域の高齢者の人口・利用者数を考慮し、タクシー券にするのか、バスにするのかの分岐点を	公共交通には、路線バス及びタクシーも含み、今後検討していくものとなります。

No.	章節	項目	資料	ご意見・ご質問事項	市の考え方
32	第4章 第4節 重点テーマⅣ	意見	資料3 40頁 67頁	第4節1.(1)、(2)に市内公共交通網等のあり方や「新たな公共交通」そして、市内全体の公共交通ネットワークの構築推進とあるが、これからの高齢化の時代の中で、車の事故が全体的には減っていても、高齢者は増大しておりますので、11ページの第3節の中にも新たな公共交通を明記してほしい。また、この問題は多く出てくると思いますが、朝、夕はスクールバス、昼間は高齢者向け福祉バスとして、中型～小型10台位を運行した場合の試算してほしい。(160万～200万 10～13年の耐用年数)スクールバス(無料)の運行により新設中学の教室を圧縮して、他の中学を選んで通学してもらうことにより、20～30年に学校が空いて、経費負担を少なくすることができると考えられる。高齢者の孤立化と買い物難民救済の為に十分検討すべきだと思います。	高齢者の生活の足の確保は、重要な課題ですが、公共交通は、高齢者を含む全市民が対象となることから、第4章第4節「公共交通の充実」において表現します。
33	第4章 第5節	質問	資料3 42頁 ～45頁	農業・商業・工業において 若い世代の雇用現状と取り組みについて 3days チャレンジによる地元産業の魅力発見	若い世代の雇用現状と取り組みについては、就職相談を実施するほか、求人情報誌を発行しています。
34	第4章 第5節	意見	資料3 42頁	2(3)② 農業体験やイベント然り、農と食に関する学びの場の必要性を感じています	食育については、第2章第5節「生涯を通じた健康づくりの推進」の施策小項目(1)①に表現されます。
35	第4章 第5節	意見	資料3 42頁	2(2)(3)の中に5市1町の食料確保の面からJAさいかつと共同して米の消費必要量を吉川の田圃で生産するという様な方向付けをするような文言を記入してはどうか？	5市1町を対象とすることは難しいと考えますが、市内における地産地消については、施策小項目(2)④で表現しています。
36	第4章 第5節	意見	資料3 42頁 ～45頁	非農家所有農地の保全支援。	ご意見については、施策小項目(2)①に表現しています。
37	第4章 第5節	意見	資料3 43頁	イベント参加者は購入意欲は高まる傾向にあると思うので、イベントへの参加者数を上げることを目標にした方がよい	イベントは、農業体験などを想定しており、参加者の定員を設けて実施していることから、参加者数ではなく、アンケートによる購入意欲度を指標としました。
38	第4章 第5節	意見	資料3 44頁	商店街の活性化として後継者育成に努め、特に後期高齢の消費者利便性の向上を。	後継者育成については、経営の安定化に含んで表現しており、施策小項目(1)①で表現しています。また、「後期高齢の消費者利便性の向上」については、第2章第3節施策小項目(2)において表現しています。

No.	章節	項目	資料	ご意見・ご質問事項	市の考え方
39	第4章 第5節	意見	資料3 44頁 ～45頁	第6節の3「事業者」とあるが、あたかも事業者自身が発言しているような表現である。市がサポートする言葉に変えては？第7節の3も同様に本来企業が常に経営の中で行っていかなければならない事であり、市の立場としては表現を変えなくてはいけないのでは？	「3 市民・地域等の取組み」については、主語は、“市”ではなく、“市民”や“事業者”となります。
40	第4章 第6節	質問	資料3 44頁	1行目 「個店の増加」＝「新規創業」では違いを教えてください	「新規創業」については、新たな個店の起業を指し、「個店の増加」については、既存の個店が魅力を備えることを指します。
41	第4章 第6節	質問	資料3 44頁	人口が平成37年まで増加が見込まれる中で、目標値は現状維持なのか。	商店数は、減少傾向にあることから現状維持を目標としたものです。
42	第4章 第6節	意見	資料3 45頁	単に工業のみではなく、研究開発型企业や流通業務施設等を含む産業全般の振興に取り組むべきである。また、その為の用地の確保具体的に推進すべきである。	ここで表現する「工業」には、ご指摘の産業全般が含まれています。
43	第4章 第6節	意見	資料3 45頁	吉川美南駅周辺の開発として中に県道を入れ“道の駅”を作ることによって、農業、商業の発展を。	事業に関する個別具体的なご提案・ご意見については、担当課にお伝えし、今後の参考とさせていただきます。
44	第4章 第6節	意見	資料3 45頁	工場誘致 工業団地、ミニ工業団地を整備し、工場を誘致し、市民の就労先を増大する。	「工業団地、ミニ工業団地の整備」については、施策小項目(2)①で表現しています。また、「就労」については、第4章第8節施策小項目(1)において表現しています。
45	第4章 第8節	質問	資料3 46頁	職業紹介機関の検討とあるが、市独自のハローワーク的な機関を設置を検討するという認識でいいのか。	職業紹介機関については、国のハローワークの出先機関である「ふるさとハローワーク」を指します。
46	第4章 第9節	質問	資料3 47頁	施策指標 入込観光客数はどうやってカウントするのか	観光庁で示された手順に沿って、市内で開催されるイベント等の参加者をカウントするものです。
47	第5章 第1節	意見	資料3 48頁	生涯学習による人づくり、まちづくり ・NPO、高校、大学などに「地元の企業」を加えた学習の提供 ・中央公民館など生涯学習施設老朽化対策	「地元の企業」を加えた学習の提供については、ご意見を踏まえ、施策小項目(4)①の表現を検討します。 施設老朽化対策については、第6章第6節施策小項目(3)において表現しています。
48	第5章 第1節	意見	資料3 49頁	施策指標に公民館の利用率などが入ってもよいのでは	生涯学習は、様々な機会・場所以で行われるものであることから、施策の指標としては、市民満足度としたものです。

No.	章節	項目	資料	ご意見・ご質問事項	市の考え方
49	第5章 第2節	意見	資料2 43頁	まちづくりのキーワードとして挙げられている各項目や「家庭・地域・学校の連携」にもかかわることであるが、子どもを主役にした安全(防災、防犯、交通安全)、環境美化活動を推進したい。子どもの気づきを大人も認識し、共に地域の課題を発見し解決していく。例えば、「わがまち再発見」として、子ども達とまちを歩き、まちの危険なところ、すぐやる所、防災設備や防犯に協力してくれる所などを発見・確認し、地図に記入する。自分たちの作った地図を防災・防犯に役立てる。まち歩きに際しては、シニアや学生ボランティアの活躍も期待したい。学校の教師は多忙なので、地域で子どもの教育をサポートすべき。	個別事業に関するご意見については、各施策において表現しています。なお、事業に関する個別具体的なお提案・ご意見については、担当課にお伝えし、今後の参考とさせていただきます。
50	第5章 第2節	意見	資料3 50頁	市内中学校にそれぞれ特徴を持たせてほしい。学校選択の際にバランス良く、通えるようになる。英語に強い学校、音楽、スポーツといった分け方でも良いと思う。	学校の特色については、施策小項目(1)②において表現しています。
51	第5章 第2節	意見	資料3 50頁	小・中・高の連携による学校教育の充実 現在、文芸よしかわや寺子屋、青少年健全育成大会に高校が関わっている	小・中・高の連携については、ご意見を踏まえ、施策小項目(6)①の表現を検討します。
52	第5章 第2節	意見	資料3 50頁	地域の人々と学校との連携とあるが、高齢者施設や障害者施設との連携や交流も豊かな人間性を培うのには必要だと考えるが如何か。	ご意見については、施策小項目(6)①において表現しています。
53	第5章 第2節	意見	資料3 50頁	教育に関しては、小・中・高の連携を強化して頂きたいと思います。例えば、小・中学校では、中学校の先生がその学区の小学校で出前講座などを行い小学校時代の児童の様子を把握して頂き、更には情報を共有して頂きたいと思います。高校は市内に1校しかないので、吉川美南高校にしかない特化したものを作ってもらい、吉川に住んでいる子どもたちが誇りをもって通える学校になるよう、県と連携して頂きたいと思っています。	小・中・高の連携については、ご意見を踏まえ、施策小項目(6)①の表現を検討します。また、吉川美南高校の特色ある学校づくりについては、管轄する埼玉県と連携を図ってまいります。
54	第5章 第2節	意見	—	吉川美南東口開発に伴い、吉川美南高校の特色ある学校づくりとまちづくり。 例:松伏高校の音楽科とエローラ	吉川美南高校の特色ある学校づくりについては、管轄する埼玉県と連携を図ってまいります。
55	第5章 第3節	意見	資料3 52頁	青少年健全育成の充実 いじめ防止や不登校対策の相談業務に専門的な対応	ご意見については、施策小項目(2)①において表現しています。
56	第5章 第3節	意見	—	市役所跡地に青少年勤労者会館を開設するとよいのでは。少子高齢化が進む中、出会いの場にもなり人口も増えるのではないか。	市役所跡地利用に関する個別具体的なお意見については、担当課にお伝えし、今後の参考とさせていただきます。

No.	章節	項目	資料	ご意見・ご質問事項	市の考え方
57	第5章 第4節	質問	資料3 53頁	施策指標の2番目 なぜ、保育園が抜けてしまったのか？ 幼稚園へ入る割合を増やしたいのはなぜか 69%の理由 むしろ働く女性を応援するならば、保育園に注目したいところでは	保育園については、待機児童と連動することから、第2章第2節において、待機児童数を指標としています。 また、「幼稚園へ入る割合を増やしたい理由」については、第5章第4節が幼児教育の充実であり、教育の観点から、幼児教育を行う幼稚園の入園を指標としたものです。
58	第5章 第5節	質問	資料3 54頁	地域コーディネーターを養成するのは諦めたのでしょうか	地域コーディネーターの養成については、施策小項目(3)①で内包されています。
59	第5章 第5節	意見	資料3 54頁	家庭教育学級の充実を図るのなら、是非、乳幼児を育てる世代から積極的な参加をして欲しいと思っています。可能であるならば、乳幼児健診の時に抱き合わせで実施できたら、多くのお母さん、お父さんに参加してもらえと思うのですが、いかがでしょうか。	事業に関する個別具体的なお提案・ご意見については、担当課にお伝えし、今後の参考とさせていただきます。
60	第5章 第6節	意見	資料3 55頁	(4)③市民劇団を仕掛けることには異論がありませんが、市が全面的にバックアップすることへの精査はこれからではないでしょうか。出稼ぎができるほどの団体へ成長をさせるならばともかく、趣味の範囲を超えないようでしたら、総合振興計画に盛り込むには時期尚早なのでは。似たような他団体とのすみわけの難しさを感じる事業だと思えます。	ご意見を踏まえ、表現を修正しました。
61	第6章 第1節	意見	資料3 56頁	幅広い世代に理解できるようにカタカナ語より日本語を使う。	一般的に浸透しているカタカナ語もありますが、脚注等を記載し、分かりやすい表現に努めます。
62	第6章 第4節	意見	資料3 59頁	全体を通してですが、各部門の縦繋がりは強いと感じますが、横繋がりが弱いのでは・・・と思っています。各部門としては解決かもしれませんが、それをもとに全体としてどのように情報を共有し連携していくか説明して頂きたいと思えます。	部門をまたいで対応が必要な場合は、担当間で情報を共有するとともに、必要に応じて政策室が調整に入るなど、組織横断的に対処しています。
63	第6章 第6節	質問	資料3 61頁	老人センターの大広間の活用稼働率が高いと思われませんが、今後は高齢者の割合が多くなると思えます。3階建てくらいに増築して使っていただき、災害時の臨時の避難所として活用できないか。	老人福祉センターの整備については、今後5年間での建設予定がないことから、計画に記載する予定はありません。
64	重点 テーマI	意見	資料3 64頁	重点テーマの中に高齢者福祉に関して全くないので、最初の6行中の2行目、「今後吉川市にも及んでくる人口減少・高齢化社会を見据え…」という文言との整合性がつかない。(見据えているのなら、重点テーマに入れなくてはならないはずだし、重点テーマに入れないなら、見据えなくてもよいのでは)	ご意見を踏まえ、表現を修正しました。



No.	章節	項目	資料	ご意見・ご質問事項	市の考え方
65	重点テーマⅢ	意見	資料3 66 頁	吉川市は埼玉県南部地域の人口5～15万人程度の11市の中では、市域面積は最大であるのに、人口は最も少なく、1 人あたり地方税収入や固定資産税収入(26 年度決算ベース)も最低となっている。まちの価値を高め、諸施策を実施できるようにするうえで、財政面の体力作りが必要である。その為には、単に工業のみでなく、産業全般の拡大、振興を図る事を最重点として、全市的に取り組むべきである。	ご指摘のとおり、市の歳入の根幹は市税であることから、産業全般の拡大、振興を図ることは重要であると考えています。なお、工業については、産業全般を含んだ上での表現となっています。
66	重点テーマⅢ	意見	資料3 66 頁	活力、賑わい、農業、シティプロモーションすべてに共通する市として新しい事業展望として、農地100ha の集合の中で、日本一の貸農園を作り、100 品目の商品を作る。その中核に都市農業公園を作り、貸農園で生産したものを直売、又、市の情報発信。四季を楽しめる。花や木、年間を通じて、活力と賑わいのある拠点をつくる。このような文言を入れてみてはどうか。それと思う観光資源が少ない中では、さくら通りの延長線に作れば成功するかも？	活力、賑わい、農業、シティプロモーションすべてに共通する事業の視点は、非常に重要であると考えています。とりわけ農業拠点につきましては、今回の計画策定において、新たに追加し、第4章第5節施策小項目(3)及び重点テーマにおいても「農業の拠点づくり」で表現しています。
67	重点テーマⅣ	意見	資料3 67 頁	「みどり豊かなまちづくり」 市民調査アンケートでも住みやすさの理由の1番に「自然の多さ」を挙げている。「みどり豊か」を公園だけに留めないで、自然環境の保全、質の高い自然創生、再生などをいれてもらいたい	自然環境の保全については、第3章第4節で表現しています。重点テーマでは、住環境が整備されている都市部においても公園を整備するなどの“憩いの場としてのみどり”を想定しています。
68	重点テーマⅣ	意見	資料3 67 頁	充実した公共交通網の整備→高齢者が買い物や通院などの足を奪われないうようにと免許証の返納をしないことで、痛ましい交通事故が頻発している。高齢者の移動手段を確保するための施策検討は、市民全体で考える問題。	ご指摘のとおり、高齢者の移動手段の確保については、多くの市民のご意見を基に検討することが重要であると考えております。